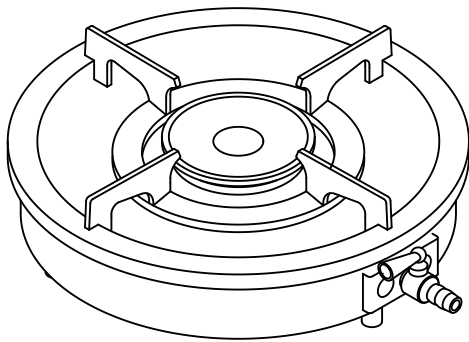


業務用

業務用ガスコンロ 丸型コンロ 品番 SK-33D



このたびは、丸型コンロを、お買い上げ頂きましてありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。よく理解した上で正しくお使い頂き、いつでも取り出せるところに、保管しておいてください。




目次

特に注意していただきたいこと	1～3
各部の名称と仕様	4～5
設置について	5～6
ご使用方法	6
日常の点検・お手入れ	7
故障・異常の見分け方と処置方法	7
長期間使用しない場合	8
アフターサービスについて	8

家庭用には使用しないでください

《ご使用のまえに》または《安全に正しくお使い頂くために》

製品を正しくお使い頂くためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。



一般的な注意



火災注意



火気禁止



高温注意



一般的な禁止



触手禁止



必ず行う

■ 特に注意していただきたいこと (安全のために必ずお守りください。)

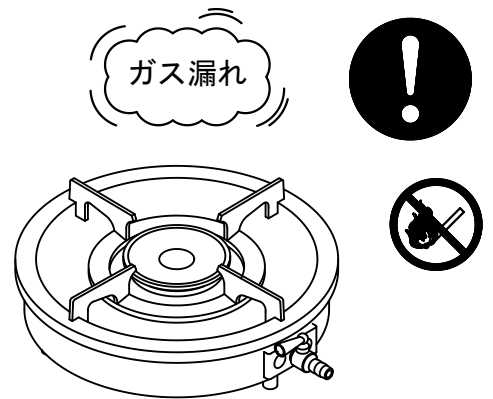
⚠ 危険

■ ガス漏れの処置

ガス漏れに気付いたときは①～③の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気器具(換気扇その他)のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差し及び周辺の電話を使用しない。

炎や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。

- ① すぐに使用をやめ、器具栓とガス栓を閉じて下さい。
- ② 窓や戸を開けガスを外へ出して下さい。
- ③ お買い上げの販売店またはガス事業者に連絡して下さい。



⚠ 警告

■ 使用ガスについての注意

必ず形式銘板(器具栓左側に貼付)に表示しているガス(ガスグループ)を使用する。
移設したときも、供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを必ず確認する。

例：都市ガス12A, 13Aの場合

品番：SK-33D
形式名：SK-33D
都市ガス12A, 13A用
ガス消費量12A 2.21kW
13A 2.33kW
00.00-000000
山岡金属工業株式会社

不完全燃焼により一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたりすることがあります。また、故障の原因にもなります。わからない場合はお買い上げの販売店、またはガス事業者に連絡して下さい。

■ 点火確認・消火確認

使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを確かめる。

使用後は消火と、器具栓つまみが「閉」の位置の方向に「カチッ」と音がするまで戻ったことを確かめ、ガスの元栓を必ず閉じて下さい。火が立消えた状態で放置されると多量のガスがもれ、爆発の恐れがあります。



■ 日常の維持管理

日常の点検・お手入れを実施して火災予防上支障のない状態に維持管理することが、火災予防条例で求められています。

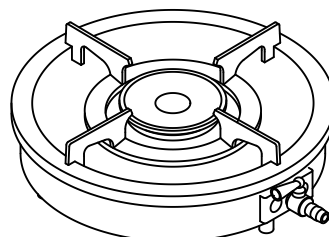
器具内部に油汚れが蓄積すると火災の原因となります。また炎口が詰まったり消耗したバーナは、未点火、立消えの原因となり、ガス漏れの危険が増します。



■ 火災注意

スプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを近くで使用しない。
機器の周囲にスプレー缶を置かない。

熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。



■ 特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください。）

⚠ 警告

■ 火災予防

火をつけたまま放置することは禁止します。



料理中のものが焦げたり、燃えたりして火災になる場合があります。

■ 火災予防

機器の上やまわりには、可燃性（カーテン、新聞紙、紙袋など）や引火性（エアゾール缶など）のものは置かない。



焦げたり、燃えたりして爆発や火災の原因となります。

■ 換気に注意

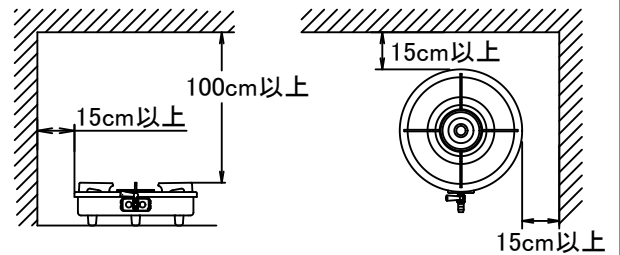
窓を開けるか、換気扇を回すなどして必ず換気をする。



不完全燃焼による一酸化炭素中毒で死に至る危険があります。

■ 火災予防

設置や移動の際、（家具や壁・棚など）可燃性の部分から下図寸法を守って設置する。



■ 異常時の処置

使用中に異常な燃焼・臭気・異常音を感じられたときや、地震・火災など緊急の場合は、あわてずにガスの器具栓及びガスの元栓を閉じて使用を中止する。

ガス栓を閉じる



故障・異常の見分け方と処置方法（7ページ）に従ってください。

■ 使用上の注意

ゴムの継ぎたし、及び二又分岐はしない。



ガス漏れや誤使用などで危険な場合があります。

■ 使用上の注意

使用中や使用直後は、高温部（ごとく・バーナ等）には触れない。



機器本体とその周辺及び調理器具が熱くなります。特に小さい子供がいる場合にはやけどに注意して下さい。

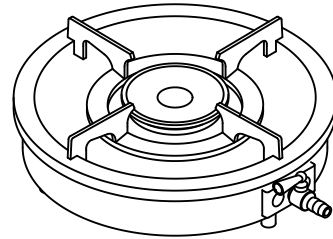
■ 特に注意していただきたいこと (安全のために必ずお守りください。)

⚠ 注意

■ 使用上の注意

使用時は、手や顔を近づけない。

使用中、機器は高温になっていますので、注意して下さい。



■ 使用上の注意

調理専用機器ですので調理以外の用途には使用しない。



火災注意

過熱・異常燃焼による焼損や火災などの原因になります。

■ 使用上の注意

機器を覆ってしまうような鉄板・陶板などは絶対に使用しない。



不完全燃焼や過熱による機器の焼損や火災などの危険があります。

■ 使用上の注意

衣類の乾燥などに使用しない。



衣類が落下して火災になることがあります。

■ 使用上の注意

火のついたまま持ち運ばない。



転倒すると火災、やけどの原因になります。

■ 使用上の注意

ゴム管は、ときどき点検して取り替える。

古くなると、ひび割れや差し込み口がゆるくなってガス漏れの原因となります。



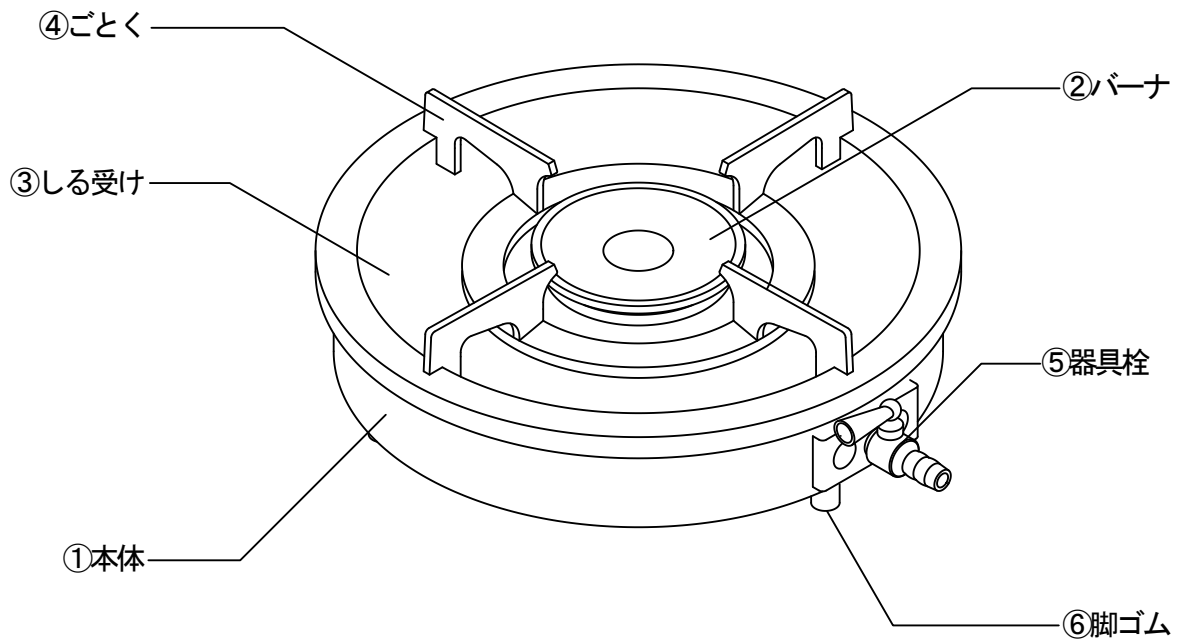
■ 使用上の注意

- ・補助具はこの料理器用の付属品以外は使用しないで下さい。
- ・使用中、使用直後はごつく・しる受け・バーナなどは高温になっておりますので手を触れないで下さい。
- ・なべをお使いになるときは、24cm以下のものをご使用ください。
- ・揚げ物調理には使用しないで下さい。
- ・この製品は業務用です。家庭用には使用しないで下さい。

お願い

- ・使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを確かめて下さい。
- ・使用後は消火を確かめ、ガス元栓を必ず閉じて下さい。
火が立消えた状態で放置されると多量のガスが漏れ、爆発の恐れがあります。

■ 各部の名称と仕様



■ 付属品

No.	部品名称	数	はたらかき
①	本体	1	バーナ・しる受・ごとくを受けている部品
②	バーナ	1	ガスと空気を混合し、安定した炎を出す部品
③	しる受け	1	吹きこぼれた汁等を受ける部品
④	ごとく	1	調理する際に鍋等を受ける部品
⑤	器具栓	1	火力を調節する部品
⑥	脚ゴム	3	器具を支えている部品

■ 消耗品

バーナ・しる受け・ごとく

■ 各部の名称と仕様

■ 仕様表

記 載 事 項	記 載 内 容
製 品 名	丸型コンロ
形 式 名	SK-33D
種 別	ガスこんろ
点 火 方 式	マッチ点火
空 気 調 節 器	固定式
寸 法	幅249×奥行293×高さ86.5(mm)
質 量	1.0kg
ガ ス 接 続 口	9.5mmゴム管用ホースエンド
最 大 な べ 径	24cm

使用ガス 使用ガスグループ		1時間あたりのガス消費量
都 市 ガ ス	13A	2.33kW (2000kcal/h)
	12A	2.21kW (1900kcal/h)
L P ガ ス		1.95kW (0.14kg/h)

■ 設置について

■ 設置前の準備

- ・ 機器をダンボールから取り出し、包装部品を全て取り除き、付属品を確認して下さい。ごとくは本体の中に入っています。
- ・ 本体の上にする受け・ごとくの順番に傾かないように正しく載せて下さい。特にごとくは4ページ「各部の名称」のイラストを見て、表・裏を間違わないように載せて下さい。

■ 設置時の注意

・ ゴム管の接続

ゴム管の接続時にホースバンドを必ず付けて下さい。
ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたり、ねじれたりしないようにできるだけ短く、また器具の下を通したり器具に触れたりしない。



■ 設置について

■ 設置場所

- ・ 棚の下など落下物のある所を避けて下さい。火災になることがあります。



- ・ 樹脂製の照明器具の下でのご使用はお避け下さい。照明器具のかさ等が変形することがあります。



- ・ 安定のよい丈夫で水平な台の上に設置して下さい。不安定な所や傾いた所に設置すると機器が傾いてやけどやけがをすることがあります。



- ・ 強い風の吹き込む所を避ける。風で吹き消されたり、周囲のものが加熱される場合があります。



■ ご使用方法

■ ご使用前の準備

- ・ 器具栓が閉の位置にあることを確かめてからガスの元栓を開けて下さい。

■ 操作のしかた

- ① マッチに点火してバーナに近づけてから器具栓つまみをしずかに反時計方向にまわすと点火します。初めての点火の時は、ゴム管内に空気が入って点火しにくいことがあります。この場合2～3回点火操作を繰り返してください。
- ② ガス量の調節は器具栓つまみを反時計方向にまわすと大きくなり、時計方向にまわすと小さくなります。
- ③ 器具栓つまみを時計方向にいっぱいまでまわすと消火します。
※火力は無段階で調節できますが、「閉」近くになると立消えする場合があります、危険です。

■ 空気調節

- ・ 当器具の空気調節は固定式ですので操作する必要はありません。



良好燃焼

内炎が青い色で先がはっきり見える。

■ 停電時のご使用方法

- ・ ご使用中に万一停電した場合、器具栓つまみを「閉」の位置にし、ガスの元栓を閉じておいて下さい。停電復旧後は、通常の点火操作を行って下さい。

■ 日常の点検・お手入れ

機器の性能を維持し、衛生かつガス漏れによる事故や機器の故障、劣化などによる異常発生を未然に防止するため、日常点検および定期清掃は必ず行って下さい。

■ 点検・お手入れの際のご注意

- ・ 日常の点検・お手入れは、必ず行って下さい。
- ・ 特に煮こぼれした時は、必ずバーナの清掃を行って下さい。
- ・ 故障または破損したと思われるものは、使用しないで下さい。
- ・ 不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い上げになった販売店又はガス事業者にご相談下さい。
- ・ 点検・お手入れの際には必ずガスの元栓を閉じ、機器が冷えてから行って下さい。
- ・ お手入れの際には指先に十分注意して下さい。
- ・ 機器内部をお手入れする場合は手袋を着用し行って下さい。各 부품の突起等に力強く当たった場合、手を切ることがありますので注意して下さい。

■ 点 検

- ・ 各部品とも正しくセットされていることを確かめて下さい。
- ・ バーナおよびその周辺に破損や不具合など異常がないか確かめて下さい。
- ・ 機器周辺に可燃物・障害物などがいないか確認して下さい。

■ お手入れ

- ・ 本体は、手袋を着用して濡れぶきんでよく拭いて下さい。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませて拭き取り、お手入れした後、乾いた布で十分水気をとって下さい。
- ・ ガスを有効にお使い頂くためにもバーナのお手入れが大切です。バーナの炎が不揃いになったときは、炎孔が煮じるなどで詰まっていますのでキリか針金などで掃除して下さい。

■ 故障・異常の見分け方と処置方法

原因	現象										処置方法
	ガスの臭いがする	点火しない・点火しにくい	着火・火移りがしにくい	炎が黄火で燃える	炎が飛びように燃える	異常な音をたてて燃える	炎が異常に小さい	炎が異常に大きい	炎が安定しない	使用中に炎が消える	
ガスゴム管接続が不完全	○										ガスゴム管の接続を確実にする
ガス元栓の開きが不十分		○	○								ガス元栓を全開にする
LPガスがなくなりかけている		○	○	○			○	○	○		新しいボンベと交換する
配管中に空気が残っている		○	○		○				○		点火操作を繰り返す
銘板表示のガスと使用ガスの不一致		○	○	○	○	○	○	○	○		ただちに使用をやめ、販売店に連絡し使用ガスに合った機器と交換
点火操作が適切でない		○	○								正しい点火操作を行う
器具栓ツマミの開き不足		○	○						○		器具栓ツマミを一度「閉」に戻してから再び点火操作を行う
バーナの炎口が詰まっている	○	○	○	○	○	○	○	○	○		バーナの炎口を清掃する
バーナの取り付けが悪い		○	○	○	○	○		○	○		バーナを正しく取り付ける

ご使用の際に普段と違った状態になったときや、不具合が生じたときは、上記の処置を行いそれでも直らないときは、ただちにご使用を中止してお買い上げの販売店にご連絡ください。

■ 長期間使用しない場合

- 長期間使用されない場合は各部を清掃し、ガスの元栓を閉じて保管して下さい。

■ アフターサービスについて

■ サービス（点検・修理など）を依頼される前に

- ・ サービスを依頼する前に7ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項でもう一度確認の上、それでも不具合な場合あるいはご不明な場合は、ご自分で修理をなさらないで買い上げの販売店にご連絡下さい。
- ・ アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをお知らせ下さい。
 - ① 品番・製品名・製品番号（銘板に表示のもの）・ガスの種類
 - ② 住所・氏名・電話番号・道順
 - ③ 現象（できるだけ詳しく）
 - ④ 製品購入日・販売店・訪問希望日・時間帯

■ 移設される場合

- ・ 移設によってガスの種類が変わる場合があります、その場合、工事や調整には専門の技術が必要になりますので必ず当社か買い上げの販売店または転居先のガス事業者にご連絡下さい。また、このときに要する費用は有料です。

■ 保証について

- ・ 「正常なご使用状態」において、しかも「製造上の責任」により発生した機器の故障にかぎり、買い上げ日より「1ヶ年無償修理」といたします。ただし次の場合は保証期間中でも「有償修理」といたします。
 - ① 誤った使い方をされたときの故障
 - ② 移動によって生じた損傷・故障
 - ③ 改造された場合の故障
 - ④ 天災による損傷・故障※修理によって機能が維持できるときは、お客様のご希望により有料で修理いたします。

■ 消耗品

- ・ 消耗品は、保証期間中でも有償となります。（4ページ参照）

■ 補修用性能部品の最低保有期間について

- ・ この業務用丸型コンロの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年です。

■ 連絡先

- ・ 業務用丸型コンロをお使いになった上で、なにか不明な点や不具合な点がございましたら、買い求めになった販売店か当社へ連絡して下さい。

YAMAOKA

山岡金属工業株式会社

ISO14001/ISO9001認証取得

本 社 / 〒570-8585 大阪府守口市東郷通2丁目7番30号
TEL.(06)6996-2351 FAX.(06)6997-3045
東京支店 / 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-6-4 新福神ビル9階
TEL.(03)3255-6755 FAX.(03)3255-6722

URL <http://www.silkroom.co.jp> / E-mail info@silkroom.co.jp
夢工房「技術・文化館」「技術・開発館」を本社に併設しております。